

♡ 2022年投稿募集のテーマ ♡

お待ちしております



- 第1回 コロナ禍で我慢していることは? 2/14(月)締切、2/20掲載
- 第2回 あなたの好きな俳優は? 4/11締切、4/17掲載
- 第3回 今年のGWは? 6/13締切、6/19掲載
- 第4回 私流 暑さをしのぐ方法 8/15締切、8/21掲載
- 第5回 貴方の得意料理は? 10/10締切、10/16掲載
- 第6回 環境に良い事してますか? 12/12締切、12/18掲載

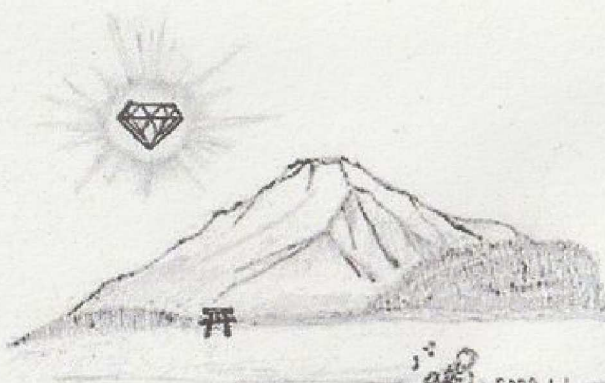
FAX043-484-2149 Email yomiuri-is@fine.ocn.ne.jp 郵送〒285-0025 佐倉市鏑木町 1205-2YC 佐倉

ドラゴンへの階段 第33回

(連載エッセイ版) 「新たな思い」 佐藤 洋祐

皆さん、2022年、明けましておめでとうございます。そしてこうしてエッセイを書く快晴の朝、外は一面の雪景色、昨日終日かけて降り積もった雪が視界を白のトーンで埋め尽くしました。厳しい冬の中、わずかに残る柿を求めたメジロが雪の積もる枝に停まる場所を羽ばたきながら探しています。朝日のある部分の雪が溶け、神々しく崩れ落ちます。クワンクワンと音を立て、そのリズムを少しづつ早める屋根の上の雪解け水。いつか必ずやってくる春に向けて、脈々と生命のエネルギーが波打っています。

体操ひとつとっても、冬というのはそれをやりにくい季節です。体は寒さでこわばり、体熱を失うことを恐れて関節は閉じた状態になります。体を伸ばすにも温かい時節のようにすんなりとはいきませんが、辛いからといってこれを辞めてしまつては、ひとつの周期を終わらせてしまいます。何事かなされるにもやり易い、やり難いという時の波はあり、この波のリズムがあるからこそ人は自分の持つ理想のイメージに近づいていくことができます。自然界のあらゆる生命もそのリズムの中でエネルギーを循環しています。そういう意味で、冬は蓄積の季節。貯めたエネルギーが芽吹くのが春、それが昇華する夏、そのために、一番大事な季節が冬、とも言えますよね。



この年末年始は、あるイベントにおける演奏などのご依頼を受けて、富士山麓の山中湖村にて過ごしました。標高で言うと約千メートルの高地ですから、気温は佐倉市よりもずっと低く早朝はマイナス12℃にもなり、湖面から吹きつける風もあって体感温度はさらに寒く感じられます。でも滞在中は常に晴天に恵まれ、とりわけ元日の朝は雲一つない立派な富士山を眼前に心が澄み渡り、思わず願ひ事をせずにはいられぬ様なありがたいお姿でした。そして何より、現地でお世話になった方々の温かいお心遣いが骨身に染みるひとときでした。ああ、私はこうして音楽に自分の全てを捧けてもいいんですね、ありがとうございます、と幾度となく心に思いました。

ここで年始を迎え、また素晴らしい出会いや発見に恵まれ、私の活動も新たな局面を迎えることができそうな良い予感に溢れています。自分が使命と見定めて続けてきたことに、新たな仲間が見つかったような・・・。一方で、その予感を現実にしてくれるのは、これまでどんなに寒くても、やりにくいことがあっても、障害があらわれた時でもコツコツと続けてきた、日々の積み重ねなんですね、やはり。こう思うと、一瞬一瞬を、全ての言動を、全ての思いを無駄にしたいくない、大事に責任を持って臨みたいという気持ちがある、またふつふつと心のそこから湧いてきます。あの清らかなで敵(おこそ)かな富士の湧き水のように、途絶えることなく・・・。

今回ご紹介した山中湖村でのイベントにおける演奏の様子、ごく一部ですが、動画サイト「YouTube」にて視聴いただけます。このQRコードを読み取るか、「佐藤洋祐 ドラゴンへの階段 山中湖」と検索して見つけていただけます。動画を載せている「フォーカスチバプロジェクト」は、千葉県のある有志達による地域おこしを目的とした動画チャンネルです。

挿絵 TAKAKO



佐藤洋祐
ドラゴンへの階段
山中湖

佐藤 洋祐(サトウ ヨウスケ)
ジャズミュージシャン。サクソフ奏者としてグラミー賞を2度受賞。2015年末より佐倉市在住。2019年よりシンガーとしても活動を開始。